

英語教育推進事業

英語教育の流れ	H29	H30	H31	H32	H33	H34
全国学力調査	(中1)	(中2)	全国学力調査(中3)			全国学力調査(中3)
学習指導要領	周知	移行措置	移行措置	小学校実施	中学校実施	

国の動向

【新学習指導要領】(平成32年度～)

- ◆小学校
 - ・小3～6年生 **年間70時間から210時間**
 - ・「読むこと」「書くこと」の導入
 - ・語彙(700語)・文及び文構造の指導
 - **専科指導教員を活用、ALT等を一層積極的に活用**
- ◆中学校
 - ・ **授業は英語で、語彙数増加・進出文法**

【NSの配置】

文部科学省
「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」(平成23年)
【提言3】
「教育委員会は、ALTの雇用・契約形態の見直し等適切な対応を行う。」

【全国学力・学習状況調査】

中学校国語・数学の調査に加え、**英語の「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の調査が実施される。**特に、話して「やり取りする力」の測定も予定

【中学生英語力】

国
「第2期教育振興基本計画」(平成25年度～平成29年度)
中学3年生卒業時：
英検3級程度 50%取得

【大学入学者選抜改革】

◆平成32年度から、英語の外部検定試験を活用し、4技能を評価



本市の現状

【新学習指導要領の実施に向けて】

- ◆小学校の課題
 - ・外国語活動(3・4年)、外国語科(5・6年)を指導できる教員の育成
 - ・授業時間の確保
- ◆中学校の課題
 - ・授業は英語で行う事が基本となるため、教員の英語使用率を向上する。
 - ・言語活動を中心とした授業の展開

【NSの配置】

- ◆短期間配置 & 配置時間が少ない
- ・1学期に配置がない
- ・リスニング力、スピーキング力の年間を通じた育成が難しい。

【チャレンジテスト】結果より

- ◆平成28年度(中3)
堺市56.0点 大阪府57.9点
- ◆平成29年度(中3)
堺市46.9点 大阪府48.4点
→府平均点よりも下回る



【中学生の英語力】

「英語教育実施状況調査」結果より(文部科学省)

- ◆平成28年度
中学3年生の英検3級取得率
6.5%(国 18.1%)

今後の施策

市長マニフェスト

「英語資格の取得支援などの英語教育の充実により、さらなる学力の向上を推進」

【教員研修(拡)】 (1,597,800円)

- ◆小学校
 - ・指導力向上研修
 - ・教員の英語力向上研修力向上
- ◆中学校
 - ・指導方法の工夫改善と教員の英語力向上に向けた研修をさらに充実

【NSの配置(拡)8～3月】 (185,113,000円)

- ◆小学校配置時間数増
 - ・小学校外国語教育の移行措置に対応するため、小学校NS配置を拡充する。
 - ・小学校からネイティブの英語に十分に慣れしませ、中学校の英語学習にスムーズにつなげる。
- 生徒の「聞く力」「話す力」を向上**

【小学校外国語指導者】

- ①【小学校外国語講師採用(新)】
(31,558,498円)
英語教育の専門性を有した人材を小学校5・6年生の外国語教育の専科指導として配置
24校×12単位時間

- ②【英語教育推進モデル校】
(993,000円)
6中学校区の中学校英語科教員と**3小学校の教員を小学校の英語専科**にし、児童の英語への興味関心と教員の指導力向上を図る

- ③【小中一貫教育推進リーダー(英語科)】 23校で実施

【英語検定 検定手数料(新)】 (26,333,800円)

- ◆ **中学3年生が英語検定試験を受験**
→中学生に必要な英語力の育成と大学入試までの基盤を作る。

